

2 整備事業
(産地競争力の強化を目的とする取組用)

(香川県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類 (対象作物・畜種等名) ①	政策目標 ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名) ②	政策目標 ②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
						計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他						
																																(t/10a)	(t/10a)
三豊市	三豊地区ぶどう生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	原油高騰対策(ぶどう)	生産性向上 施設園芸栽培における燃油の使用量の削減(11%)	3,492 (t/10a)	4,803 (t/10a)	5,067 (t/10a)	4,951 (t/10a)	3,108 (t/10a)	-379.9%	普通加温から早期加温の作型へ変更したため、燃油の使用量が41.7%増加した。	原油高騰対策(ぶどう)	需要に応じた生産量の確保	施設園芸における供給量の低減抑制(10.2%)	1.18 (t/10a)	1.21 (t/10a)	1.59 (t/10a)	1.44 (t/10a)	1.06 (t/10a)	135.8%	適正な栽培管理によって収量を抑制し、収量が22%増加した。	循環扇 5か所 27台	1,564,500	782,000	0	0	0	0	平成22年2月5日	事業は、普通加温の作型で計画した。しかし、市場からギフト需要がある新盆頃の出荷要請があり、この時期の出荷は、農家の所得向上、経営改善につながるかと判断し、やむを得ず早期加温へ作型変更した。燃油使用量の多い作型への変更により、成果目標は未達成となった。 なお、地域の早期加温に比べ、燃油使用量は10%以上低減した。 今後は、早期加温において、ハウス密閉度を高めるとともに、被覆から開花期まではマルチ処理による太陽光を利用した地温管理と併用して無駄な加温を無くす等燃油使用量の削減に努めるとともに、削減効果は、栽培講習会を通じて周知徹底し、事業を効果的に活用する。	地域の早期加温と比較して燃油使用量の低減効果は認められるが、作型を変更したため、目標未達成となった。 今後、早期加温による事業効果を確保するとともに燃油使用量の削減効果を周辺地域に波及できるよう指導を行う。	
綾川町	香川県農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	原油高騰対策(施設園芸(野菜いちご))	生産性向上 施設園芸栽培における燃油の使用量の削減(15.7%)	5,178 (t/10a) (平成18~20年分)	4,390 (t/10a)	3,803 (t/10a)	3,758 (t/10a)	4,365 (t/10a)	174.6%	燃油の使用量を27.4%削減した。	原油高騰対策(施設園芸(野菜いちご))	需要に応じた生産量の確保	施設園芸における供給量の減少割合を4.9%以内に抑制	2.73 (t/10a)	2.63 (t/10a)	2.86 (t/10a)	2.86 (t/10a)	2.60 (t/10a)	110.0%	供給量が4.8%増加した。	内張材 14,081㎡ (9棟) 循環扇 7棟 51台 多段式サーモ装置 2台	12,043,500	5,735,000	0	0	6,308,500	平成21年11月30日	燃油の使用料は、計画時から27.4%削減し、供給量は、計画に対し4.8%増の成果が収められた。今後、さらに普及推進を図りたい。	事業を効果的に活用し、目標値以上の成果を達成していることは評価できる。		

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
まんのう町	香川県農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(アスパラガス)	生産性向上	単位収量当たり労働時間を削減(29.7%)	586 (時間/ト)	524 (時間/ト)	477 (時間/ト)	411 (時間/ト)	412 (時間/ト)	100.5%	平成20年度と比べて175時間を短縮した。	野菜(アスパラガス)	品質向上	全出荷量に占める秀品(L級以上)の割合を増加(3%)	49 (%)	43 (%)	51 (%)	52 (%)	52 (%)	100.0%	平成20年度と比べて3%規格格付けを向上した。	集出荷貯蔵施設調整選別及び包装施設一式 選別機 1台 計量機 2台 コンプレッサー 1台	31,290,000	14,900,000	0	0	16,390,000	平成22年3月17日	単位収量当たり労働時間、秀品の割合ともに順調に達成することができた。あわせて生産者の意欲向上も図られた。	事業を効果的に活用し、目標値以上の成果を達成していることは評価できる。	

都道府県平均達成率	40.1%	総合所見	本対策を活用し、イチゴ栽培における燃油使用量の削減及び需要に応じた生産量の確保、アスパラガス栽培における労働時間削減及び秀品割合の増加に向けた成果目標の達成率は100%を上回った。しかし、ぶどう栽培では、作型変更によって成果目標を達成することができず、これにより県平均達成率は大幅に低下した。目標未達成となった事業主体に対しては、事業効果が確保できるよう指導を徹底し、その他の事業実施主体に対しても、今後も効率的な運用を図るよう支援を継続することとする。
-----------	-------	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2-1に準じて作成すること。
2 要領第1の1の(2)のアの(ア)及び(イ)場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
3 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。

(経営力の強化を目的とする取組用)

都道府県名	香川県	報告年度	平成23年度
-------	-----	------	--------

事業実施年度	市町村名	地区名	整備事業の取組内容	成果目標	目標値		当該年度の目標(A)	Aに対する達成率	点検結果及び講じようとする措置又は点検評価及び講じようとする指導
					計画時	目標年			
19	三木町	井上	経営構造対策	認定農業者の育成	7人	11人	11人	100.0%	目標は達成された。今後も認定農業者の育成に努める。
				担い手への農地の利用集積	16.9ha	18.4ha	18.4ha	293.3%	目標は達成された。担い手を新たに確保するとともに担い手農家への利用集積を推進していく。
				雇用の拡大	6人	22人	22人	137.5%	目標は達成された。今後も雇用の維持を図る。
				女性の経営参画 (家族経営協定の締結)	0組	2組	2組	100.0%	目標は達成された。家族経営協定の締結を推進して、女性の経営参画に努める。

都道府県平均達成率	158%
-----------	------

目標年度	23年度	第三者機関の開催年月日	平成24年9月4日	事業実施主体	kokoroグループ 井上生産組合	整備施設等	複合経営促進施設
第三者機関によって審議した内容及び意見 ・県内優良イチゴ農家と比較すると、所得が満足できる状態でないため、生産・経営の指導を継続して実施すること。						第三者機関の意見を踏まえて都道府県が事業実施主体に対して指導した内容 ・経営分析やコスト低減のための技術導入など農業改良普及センターと連携して継続的に実施するように指導。	

(別紙様式2号別添)

別添3 (経営力の強化を目的とする取組用)

事業実施状況報告書及び評価報告書 (事業実施主体等用)

報告年度	都道府県名	市町村名	地区名	実施実施年度	目標年度	計画主体
平成23年度	香川県	三木町	井上	平成19年度	平成23年度	三木町
政策目標	担い手の育成・確保		整備事業の取組内容	経営構造対策		

1 施設等の整備状況

整備(予定)施設等	事業量等	対象作物等	事業実施主体 (管理主体)	事業費 (千円)	負担区分(千円)				実施年度
					交付金	都道府県費	市町村費	その他	
複合経営促進施設 育苗施設 農畜産物集出荷貯蔵施設	6棟 14,860㎡ 2棟 360㎡ 1棟 146㎡	いちご	kokoroグループ 井上生産組合 (同上)	173,460	86,730	0	8,673	78,057	19

2 成果目標の達成状況

取組名	成果目標	目標値		成果目標の達成プログラム (上段:計画、中段:実績、下段:達成率)					備考
		計画時 (H18年度)	目標年 (H23年度)	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
		経営力の強化を 目的とする取組	認定農業者の育成	7人	11人	7人 100.0%	8人 300.0%	11人 100%	
経営力の強化を 目的とする取組	担い手への農地の利用集積	16.9ha	18.4ha	16.9ha 100.0%	17.2ha 566.6%	18.1ha 300.0%	18.1ha 366.6%	18.4ha 293.3%	地区内農地 63.7ha
	雇用の拡大	6人	22人	18人 35人 241.6%	18人 37人 258.3%	20人 38人 228.5%	20人 36人 214.2%	22人 28人 137.5%	
経営力の強化を 目的とする取組	女性の経営参画 (家族経営協定の締結)	0組	2組	0組 100%	1組 100%	1組 100%	1組 200%	2組 100%	

